

第2回 紀の川市ワークショップ(5/28開催) 実施報告書

平成29年5月

目次

1.実施概要	2
2.各ラウンドの進め方	4
3.各ラウンドの結果	6
4.アンケート結果	31

1.実施概要

2 紀の川市_第1回市民ワークショップ(3/12開催)_実施報告書

市民ワークショップの実施概要

第2回市民ワークショップの実施概要(実施日時、実施場所、対象者、参加者数、実施内容)は以下のとおりです。

実施日時	平成29年5月28日(日)13:30~16:00
実施場所	紀の川市役所本庁舎7階ラウンジ
対象者	公募
参加者数	44名 (内訳:高校生7名、市民37名)
実施内容	<ul style="list-style-type: none">分野における今後10年で優先的に取り組むべきアイデア出し(第1ラウンド)分野における10年後のまちの姿のアイデア出し(第2ラウンド)住民・行政の役割のアイデア出し(第3ラウンド)分野の方針と住民の役割の整理(第4ラウンド)発表

3 紀の川市_第1回市民ワークショップ(3/12開催)_実施報告書

2.各ラウンドの進め方

各ラウンドの進め方

今回の市民ワークショップの各ラウンドの「テーマ」「手法」「時間」「実施手順」は以下のとおりです。

	第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド	第4ラウンド	発表
テーマ	当該分野(政策)ので、紀の川市が今後10年で優先的に取り組むこと BEST5	当該分野(政策)として、10年後どんなまちを目指すのが理想か	理想のまちにするために、自分たちができること、行政に望むこと	当該分野(政策)について整理をしましょう	
手法	個人・グループワーク	個人・グループワーク	個人・グループワーク	グループワーク	
時間	20分	20分	15分	20分	
実施手順	<ul style="list-style-type: none"> ■個人ワーク 1 付箋に各自リストアップ。 ■グループワーク 1 模造紙に付箋を貼付け、似たようなアイデアがあれば、ひとつにまとめる 2 張り付けた付箋の中から特に共感を集めた取組みを5個選び、順位付け。 	<ul style="list-style-type: none"> ■個人ワーク 1 付箋に各自リストアップ。 ■グループワーク 1 模造紙に付箋を貼付け、似たようなアイデアがあれば、ひとつにまとめる 2 張り付けた付箋の中から特に共感を集めたまちを一つ選ぶ(次点もあれば選ぶ)。 	<ul style="list-style-type: none"> ■個人ワーク 1 付箋に各自リストアップ。 ■グループワーク 1 模造紙に自分たちができることと行政に望むことに区別した模造紙にそれぞれの付箋を貼付け、似たようなアイデアがあれば、ひとつにまとめる 2 行政にのぞむことの中で自分たちができることはないか確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ■グループワーク 第1～3ラウンドを整理し、模造紙に文章化などを行う。 	

3.各ラウンドの結果

第1ラウンド(①安全・安心分野)の結果

第1ラウンドのテーマである「今後10年で優先的に取り組むべきこと」の作業の結果、安全・安心分野においては「防災」、「防犯」、「コミュニティ作り」に関する意見が多く挙がりました。

分野の細目	件数	割合
防災	12	27.3%
防犯	9	20.5%
コミュニティ作り	9	20.5%
医療補充	4	9.1%
個人対策	3	6.8%
医療体制・設備の充実	3	6.8%
健康づくりの推進	2	4.5%
その他	2	4.5%
合計	44	100.0%

————— 主な意見(以下抜粋) —————

「防災」

- 防災教育(幼少期から)
- 危険場所のマップ(ハザードマップ)の配布
- 災害にそなえた訓練など行う

「防犯」

- 防犯設備(電灯・カメラなど)設置
- 子どもの防犯、地域の人々の交流を増やす
- 振り込め詐欺(対策など)

「コミュニティ作り」

- 近所との交流つながり
- 買い物難民(対策など)
- 年齢のたてのつながり

第1ラウンド(②子育て・教育分野)の結果

第1ラウンドのテーマである「今後10年で優先的に取り組むべきこと」の作業の結果、子育て・教育分野においては「学力の向上」、「生涯学習」、「地域と学校との連携」に関する意見が多く挙がりました。

分野の細目	件数	割合
学力の向上	6	20.7%
生涯学習	5	17.2%
地域と学校との連携	4	13.8%
少子化	3	10.3%
文化	2	6.9%
子育て	1	3.4%
その他	8	27.6%
合計	29	100.0%

————— 主な意見(以下抜粋) —————

「学力の向上」

- 主体的な学びの奨励
- 地域人材の発掘
- 塾通いを少なくし、自主課題追及させる取り組み

「生涯学習」

- 生涯学習のための高齢者の場所、交通網
- 各種団体にすすんで参加
- 生涯学習の学級

「地域と学校との連携」

- 地域、各種団体等の連携を図る
- 学生と地域とのコラボ

第1ラウンド(③産業・交流分野)の結果

第1ラウンドのテーマである「今後10年で優先的に取り組むべきこと」の作業の結果、産業・交流分野においては「農業振興」、「観光」、「産業振興」に関する意見が多く挙がりました。

分野の細目	件数	割合
農業振興	13	25.0%
観光	12	23.1%
産業振興	8	15.4%
交流	7	13.5%
雇用・就労	7	13.5%
外国	2	3.8%
その他	3	5.8%
合計	52	100.0%

————— 主な意見(以下抜粋) —————

「農業振興」

- 若い人が楽しめるような農業の取組
- 耕作放棄地(の対策など)
- 世継ぎ問題(の対策など)

「観光」

- 他言語化(対応)
- 自然を活かしたイベント(の開催)
- 新たなフルーツ”商店街”構想

「産業振興」

- 新産業を呼び込む為の土地
- 雇用を増やす
- 空き家対策

第1ラウンド(④都市基盤・生活環境分野)の結果

第1ラウンドのテーマである「今後10年で優先的に取り組むべきこと」の作業の結果、都市基盤・生活環境分野においては「交通整備」、「コミュニティの場作り」、「自然の楽しみ」に関する意見が多く挙がりました。

分野の細目	件数	割合
交通整備	5	33.3%
コミュニティの場作り	4	26.7%
自然の楽しみ	3	20.0%
介護の充実化	2	13.3%
その他	1	6.7%
合計	15	100.0%

————— 主な意見(以下抜粋) —————

「交通整備」

- 道路整備・改善
- 電灯が少なく夜あぶない
- 下水道整備

「コミュニティの場作り」

- 高齢者が活躍出来る場
- 人との交流が少ない
- あき家対策

「自然の楽しみ」

- 山あそびが出来る所
- 地産地消

第1ラウンド(⑤地域づくり・行政経営分野)の結果

第1ラウンドのテーマである「今後10年で優先的に取り組むべきこと」の作業の結果、地域づくり・行政経営分野においては「地域活動・イベントの強化」、「コミュニティの強化」、「防災・防犯機能の強化」に関する意見が多く挙がりました。

分野の細目	件数	割合
地域活動・イベントの強化	3	21.4%
コミュニティの強化	3	21.4%
防災・防犯機能の強化	3	21.4%
その他	5	35.7%
合計	14	100.0%

————— 主な意見(以下抜粋) —————

「地域活動・イベントの強化」

- お祭などで町おこし
- 自治会対抗スポーツイベントの開催
- 地域の活動に対しての補助制度をつくる

「コミュニティの強化」

- 自治会への帰属意識を高める
- 交流の場の設

「防災・防犯機能の強化」

- 防犯として監視カメラの設置
- 消防車、救急車の出動、到着の早急化

第2ラウンド(①安全・安心分野)の結果

第2ラウンドのテーマである「10年後のまちの姿」の作業の結果、安全・安心分野における「理想像」、「理由・想い」として以下のような意見が挙がりました。

理想像	理由・想い
高齢者の健康を守る町	高齢者が多く、病院が少なく、安心して暮らせない
災害に強いまちづくり	大災害時において、住民自ら助け合い、又、日頃の生活でも応急手当がされ、家族全員が信頼し合い、住民同志が安心できるまち
将来のための防災訓練	いつ震災が来るかわからないため、地域の人との防災訓練が必要
安心できるまちづくり	小学生などの幼年期からスポーツ(武道)を通じ、礼や節の教育を実施することにより、防犯意識の向上、又、防御技術
コミュニティに富んだ町	縦の世代間交流を増やし、住みやすく、困難を取り除くまちに！
お互いを気づかう町	(記載なし)
地域住民が互いに支え合う街づくり(困難かもしれないが挑戦したい！)	全ての住民が幸せに暮らせる社会
つよいつながりのあるまち	(記載なし)
健康なまち	スポーツや運動をする機会が増えてほしい 医療の発展により子どもから大人まで健康で元気なまちに！
医療と健康、いきいきとした町	最先端、充実した医療サービス、アクセス、健康を維持し、人がいきいきと活気のあるまちになるように...
高度医療設備が充実した病院のある町	現在、多様な病状をかかえる人々が多い中、このまちに先進医療がほどこせる設備が充実している
若い人が住みやすい街	働く場所が多く、生活環境の良い街
のんびり散歩できるまち	安心できるって事 誰と出会っても軽くあいさつしたり笑顔をかかわせるという町であって欲しい
誰でもが住みやすい街	産業があり環境が良く利便性がある街
子供の声が飛びかうまち	子供たちが外で元気に遊ぶという事は、安全安心が伴ってなくてはいけないと思う(皆が顔を良く知っている)
子どもから大人まで安心、安全に暮らせるまち	事件や事故が少なく、いざという時に皆で手を取り合えるまちになってほしい
子どもが安全安心に遊べるまち	将来の担い手である子どもたちが元気に屋外で遊べるよう防災防犯意識の高いネットワークや設備が構築できている
防災、防犯で人と人がつながる豊かな町	防災、防犯を人と人で助けあい、町が安心、安全で豊かになる

12 紀の川市_第1回市民ワークショップ(3/12開催)_実施報告書

第2ラウンド(②子育て・教育分野)の結果 1/2

第2ラウンドのテーマである「10年後のまちの姿」の作業の結果、子育て・教育分野における「理想像」、「理由・想い」として以下のような意見が挙がりました。

理想像	理由・想い
高齢化が進む中、交通の便が良いまち	車の運転ができなくなり、外出、主に食品等の買い物に不便の無いまちであれば良いと思う
楽しく学べるまち	いくつになっても新しい知識を学べる場所や機会を与えてくれるまち
新しい物も古い物もあるまち	高齢者も若い人も楽しめる場所、教えあうことのできる物や場所があれば良い
老人が集える場所	気兼ねなく同年輩と楽しい時間を過ごしたい
活きた学びが生きるまち	1ヶ所で盛り上がっているのではなく、身近なところ(誰かの家、公園、公民館、学校、お寺、博物館など)で色々な人が人生に直結するような生きた学びがあるまちにしたい
子供、大人が集える場所があればいい	少子化となり、接する機会が薄れているため、ある場所に行ったら楽しく過ごせるのでないか(大型施設)
みんなの学びを応援するまち	やりたい事を積極的に言って、みんながそれを否定せず、一緒にしてくれるようなまち
みんなが学ぶ元気なまち	「勉強」、「教育」が嫌いな人でも「学び」を好きになってくれる人が多くいるまちにしたい
大人と子供が寄り添うまち	大人と子供が協力して住みやすい環境(福祉的)にしたい
学校の給食無償化	(記載なし)
健康な人が多いまちづくり	低価格で参加できるスポーツ施設をつくる
一人ひとりが生かされる街	生きがいがある、夢がある
マンション、アパートが多くなってきているので、この人たちとも声をかけたい	病院が近くに有れば...と思う
地域住民の温かい連携が支え合い、協力の輪が広がる	いつでもどこでも協力し合える街
となり同士の人たちとつねに話し合えるように	なにかあればとんで行って声をかけたい

13 紀の川市_第1回市民ワークショップ(3/12開催)_実施報告書

第2ラウンド(②子育て・教育分野)の結果 2/2

第2ラウンドのテーマである「10年後のまちの姿」の作業の結果、子育て・教育分野における「理想像」、「理由・想い」として以下のような意見が挙がりました。

理想像	理由・想い
地域の方々と学校が連携するまち	年齢とか関係なく協力しあう
コンビニ等がふえているので私たちにはありがたい	高齢化の町になってきたので買い物の理想像について考えたいと思う
人々が明るく楽しく、幸せ感が持てる街	生きる喜びを感じる生き方が大事と考えるから
三世代同居	おじちゃんおばあちゃんを大事に！心のやさしい子どもたち
高校生が自慢できる街	都会のほうが良くみえるが、都会にはない地方の良さ、オリジナルをみつけ、自慢できる所を高校生(や大学生)が知る、そんな街はきつとにぎやか
文化や伝統が粹づく街	自分のまちの伝統や文化(祭りや文化財)を知る機会が教育の場であつたらよい人は歴史ある所に惹かれる
文化活動がさかんなまち	子育てにあたって小さい子でも参加できるようにする
学力(教育力)の高い街	全ての分野に最高の力が発揮できると考える
子供達が伸び伸びと	みんなが思いやりのある
家庭教育がしっかりと	家族一人ひとりのコミュニケーションがある家庭に

第2ラウンド(③産業・交流分野)の結果

第2ラウンドのテーマである「10年後のまちの姿」の作業の結果、産業・交流分野における「理想像」、「理由・想い」として以下のような意見が挙がりました。

理想像	理由・想い
仕事の場所がある	家族が楽しく暮らせるように！
活気があって、思いやりをもつまち	若い人が農業などに参加する、若い人もおとしよりも皆が思いあって交流をし、仲をふかめる！！
楽しく、やりがいが生まれるまち	皆が皆、くらい気持ちで仕事などをしない！！なんでも楽しくする、産業などでやりがいがあるようなどりくみをする！
外国人が農業体験から就農できる町	フルーツ王国であり続ける為に
市民の交流が気軽にできる町	ハコ物の有効活用
いきがいのあるまち	やりたい仕事がある(生きがい)、観光・交流(行きがい)
車がなくても行動が容易にできる町	公共交通機関の充実
高齢者、若者が入り混じった町	孤独市など全くない安心な町、その為の交流を大切に！
「地産地就」な町	地産地消は農作物を地域で消費する 地産地就は地域で産まれそこで就職できれば...
帰ってきたくなるまち	それぞれの可能性が活かせる戻ってきたくなるまち
魅力のある町	帰ってきたい町作り
自然体験ができるまち	川、山、自然を活かした観光(イベント)をアピールして、県外からもたくさんの人を呼び込む→仕事が増える
"自分で案内できる"まち "わたしたち"のまち	市民が自分で考え、自分で動くアグレッシブなまち
こころ豊かな「生き」「活き」なまち	現金収入が少なくても、地域の人と人の支え合いの中で豊かにくらすまちづくり
安心できるまち	就労や交流 就労:格差なくみんなが安心して働ける、交流:つながりがあり助け合える
思いやりのあるまち	障害をもっている人も健常者も住みよい

第2ラウンド(④都市基盤・生活環境分野)の結果

第2ラウンドのテーマである「10年後のまちの姿」の作業の結果、都市基盤・生活環境分野における「理想像」、「理由・想い」として以下のような意見が挙がりました。

理想像	理由・想い
子育ての充実したまち	子供達を安全に育てる
整備がしっかりとされた町	高齢者が多く子どもが少ない、少子高齢化社会の中でより安全にするためにはしっかりと整備をして老若男女が幸せに暮らせるように
社会インフラの充実したまち	老人や社会的弱者にとって使い易い交通インフラ等の整備
街灯を多くつけてほしい	早くくれる日には余計必要である
紀の川市でないと楽しめない自然の遊びがあるまち	紀の川市以外の所に遊びに行くのがもったいない
交流の多い町	年の違った人たち同士で交流し、それぞれの考えがその時代の遊びをつなげたり、教えたりする
自然と共に生きる町	自然をいかし、自然をいかしたイベントをし、自然をみんなで、あじわう街にしたい(いちから食べ物を作り、その調理の仕方を町の方に教わったり、自然をつうじてつながれる町がいい)
老人が集まる場所(近くに)	1人ぐらしが多く、少しでも人の集まる場所があればいい(近くに)
高齢者が活気あるまち	医療費の減少、寝たきりの減少

第2ラウンド(⑤地域づくり・行政経営分野)の結果

第2ラウンドのテーマである「10年後のまちの姿」の作業の結果、地域づくり・行政経営分野における「理想像」、「理由・想い」として以下のような意見が挙がりました。

理想像	理由・想い
地域住民が明るく暮らしているまち	みんな仲よし
自分の住んでいるまちが一番と全住民が感じているまち	住めば都
市民がもっともっと協力して生きていけるまち	かなりかなり生活していける町であってほしい
子供・親が安心できるまち	監視カメラの設置や見守りで防犯し、見守りから交流が生まれ、親同士でのコミュニティから安心を生めるように
誰が住んでいるか全住民がわかっているまち	隣組の復活
市民が気がねなく行政に話せるまち	市民の考えが行政に直ぐ届く
初めて来る方、外国の方に来て頂き、意見交換から反映できるまち	違う土地からの来訪者からの意見や情報から、町を生き物のように変化し続けられるように
国保、税や県税が納得して払え、かなりかなり生活できる市になってほしい	もっともっと生活が楽になるように納税におわれなくて生活できたらいいと思う

第3ラウンド(①安全・安心分野)の結果

第3ラウンドのテーマである「住民・行政との役割」の作業の結果、安全・安心分野においては以下のような意見が挙がりました。

分類	分野の細目	件数	割合
自分たちができること	個人対策	12	41.4%
	コミュニティ作り	9	31.0%
	防災	3	10.3%
	防犯	1	3.4%
	健康づくりの推進	2	6.9%
	医療体制・設備の充実	0	0.0%
	医療補充	0	0.0%
	その他	2	6.9%
	合計	29	100.0%

————— 主な意見(以下抜粋) —————

「個人対策」

- 自分たちがまちを支えるという自覚
- 声かけをしあう
- 行政へ参加、協力

「コミュニティ作り」

- コミュニティを作りやすくするための仕組みづくり
- 市民同士の協力

行政に望むこと	防災	6	24.0%
	防犯	3	12.0%
	医療体制・設備の充実	2	8.0%
	健康づくりの推進	1	4.0%
	コミュニティ作り	1	4.0%
	医療補充	0	0.0%
	個人対策	0	0.0%
	その他	12	48.0%
	合計	25	100.0%

「防災」

- 防災士または指導員の増員
- 住宅用火災警報器の配布
- 地域内防災訓練

「防犯」

- 防犯カメラ街灯の設置

第3ラウンド(②子育て・教育分野)の結果

第3ラウンドのテーマである「住民・行政との役割」の作業の結果、子育て・教育分野においては以下のような意見が挙がりました。

分類	分野の細目	件数	割合
自分たちができること	地域と学校との連携	3	15.0%
	生涯学習	0	0.0%
	学力の向上	0	0.0%
	少子化	0	0.0%
	文化	0	0.0%
	子育て	0	0.0%
	その他	17	85.0%
	合計	20	100.0%

————— 主な意見(以下抜粋) —————

「地域と学校との連携」

- 地域の人材の発掘(生徒とともに)
- 学校の先生が窓口となる

「その他」

- 自分たちでコミュニティをつくる
- 自分たちで行事を企画する
- 参加する

行政に望むこと	地域と学校との連携	2	9.1%
	生涯学習	1	4.5%
	学力の向上	0	0.0%
	少子化	0	0.0%
	文化	0	0.0%
	子育て	0	0.0%
	その他	19	86.4%
	合計	22	100.0%

「地域と学校との連携」

- 幼稚園、保育所、小学校、中学校、高校を市民に開放的なものにする
- 教育の方針として地域連携を銘打つ

「その他」

- 自由に集まって、なにかをすることのできる施設づくり
- 行政から市民(住民)の声に耳を傾ける
- コミュニティ活動への助成金

第3ラウンド(③産業・交流分野)の結果

第3ラウンドのテーマである「住民・行政との役割」の作業の結果、産業・交流分野においては以下のような意見が挙がりました。

分類	分野の細目	件数	割合
自分たちができること	交流	12	46.2%
	雇用・就労	2	7.7%
	観光	2	7.7%
	農業振興	1	3.8%
	産業振興	0	0.0%
	外国	0	0.0%
	その他	9	34.6%
	合計	26	100.0%

————— 主な意見(以下抜粋) —————

「交流」

- 行政のする事に積極的に参加する
- お年寄りとの交流をもつ
- 地域コミュニティの形成

「その他」

- まず行動
- ひとり一人が出来る事を考える
- まちの良さを知る

行政に望むこと	雇用・就労	5	21.7%
	交流	3	13.0%
	農業振興	3	13.0%
	産業振興	3	13.0%
	観光	1	4.3%
	外国	0	0.0%
	その他	8	34.8%
	合計	23	100.0%

「雇用・就労」

- 学生向けの就業体験などの支援を増やす
- 就労資金融資
- 公的な働く場をつくる予算化

「その他」

- 我が町を誇りに思う
- 広報でPR(アピール)
- 地域貢献するNPOとの協調、資金補助

第3ラウンド(④都市基盤・生活環境分野)の結果

第3ラウンドのテーマである「住民・行政との役割」の作業の結果、都市基盤・生活環境分野においては以下のような意見が挙がりました。

分類	分野の細目	件数	割合
自分たちができること	コミュニティの場作り	2	20.0%
	自然の楽しみ	2	20.0%
	交通整備	0	0.0%
	介護の充実化	0	0.0%
	その他	6	60.0%
	合計	10	100.0%

————— 主な意見(以下抜粋) —————

「コミュニティの場作り」

- 遊べるような場所作り
- 場所の提供

「その他」

- 積極的に話をする
- 色んな人と話をして意見を増やす
- 地域のイベント等に協力する

行政に望むこと	コミュニティの場作り	3	37.5%
	交通整備	2	25.0%
	自然の楽しみ	1	12.5%
	介護の充実化	0	0.0%
	その他	2	25.0%
	合計	8	100.0%

「コミュニティの場作り」

- 情報を発信できる場所
- イベントの場を提供してほしい

「交通整備」

- 狭い道路を拡幅する

第3ラウンド(⑤地域づくり・行政経営分野)の結果

第3ラウンドのテーマである「住民・行政との役割」の作業の結果、地域づくり・行政経営分野においては以下のような意見が挙がりました。

分類	分野の細目	件数	割合
自分たちができること	コミュニティの強化	6	60.0%
	地域活動・イベントの強化	2	20.0%
	防災・防犯機能の強化	2	20.0%
	その他	0	0.0%
	合計	10	100.0%

分類	分野の細目	件数	割合
行政に望むこと	地域活動・イベントの強化	6	54.5%
	コミュニティの強化	2	18.2%
	防災・防犯機能の強化	0	0.0%
	その他	3	27.3%
	合計	11	100.0%

————— 主な意見(以下抜粋) —————

「コミュニティの強化」

- 定期的な集会
- 隣人の理解

「地域活動・イベントの強化」

- 地域の祭、イベント活動

「地域活動・イベントの強化」

- 地域活動に対する補助制度
- 優秀な活動を市外に発信してゆく

「コミュニティの強化」

- 他の地域との交流の場設置

第2回市民ワークショップの発表 【安全・安心①】

■当該分野で取り組むべきことや課題ベスト5

1. コミュニティ作り
2. 防犯
3. 防災
4. 医療補充
5. 個人対策

(フレーズ) ~お祭りで盛り上がる人とまちづくり~
助け合うコミュニティの形成へ！！

■フレーズの理由・想い

■役割り

<市民等>

1. 地域活動への参加
2. 近所の人との交流
3. 周りの人と多く意見交換する

<行政>

1. お祭りなどで機会ない防災活動、
応急手当の仕方を学ぶ
2. 学校行事などでワークショップを取り
入れる

第2回市民ワークショップの発表
【安全・安心②】

■当該分野で取り組むべきことや課題ベスト5

1. 防災・防犯設備の充実
2. 医療体制・設備の充実
3. 健康づくりの推進

(フレーズ)

子どもが安全・安心に遊べるまち

■フレーズの理由・想い

1. 将来の担い手である子どもたちが元気に屋外で遊べるよう防災防犯意識の高いネットワークや設備が構築できている

■役割り

<市民等>

1. あいさつ声掛け連携強化
2. 地域でのネットワーク

<行政>

1. 防犯施設・設備の整備
2. 医療の充実(技術・設備)

第2回市民ワークショップの発表
【子育て・教育①】

■当該分野で取り組むべきことや課題ベスト5

1. 高齢者にやさしい町
2. 通学路の整備
3. 高校の無償化
4. 主体的教育、学び
5. 保育所と幼稚園の統合

(フレーズ) 子どもと大人のみんなが元気に学べる町
～学びを好きになってくれる町づくり～

■フレーズの理由・想い

1. コミュニケーションの取れる大型施設の設営
2. やりたい事を積極的に言ってみんなが否定せず一緒に学べる町

■役割り

<市民等>

1. 取り組みへの参加
2. コミュニティづくり
3. 自分たちで企画する

<行政>

1. 場所づくり
2. イベントの企画
3. 助成金

第2回市民ワークショップの発表
【子育て・教育②】

■当該分野で取り組むべきことや課題ベスト5

1. 地域と学校の連携
2. 生涯学習推進
3. 学力の向上
4. 文化の継承
5. 少子高齢化

(フレーズ)

一人ひとりが生かされるまち
～心のつながり～

■フレーズの理由・想い

1. 年齢に関係なく協力する
2. 力を発揮する

■役割り

<市民等>

1. 声かけなど人と人とのつながりを大切に
2. いろいろな所に積極的に参加する
3. 学校が地域の窓口になる

<行政>

1. 何が問題かを分析する(実態調査)
2. 予算化
3. 組織化

第2回市民ワークショップの発表
【産業・交流①】

■当該分野で取り組むべきことや課題ベスト5

1. 若い人が楽しめる農業
2. 市民の交流
3. 新たな産業
4. 外国人誘客
5. 公共交通

(フレーズ)

いきがいのあるまち

■フレーズの理由・想い

1. 若者と高齢者が入り混じった町にしたいから力を発揮する
2. やりたい仕事がある(生きがい)、観光・交流(行きがい)

■役割り

<市民等>

1. まず参加！！
2. もっと知る！！
3. 発信する！！

<行政>

1. 一市民としての感覚を持つ！！
2. 大学の農学部誘致！！
3. 旧5町の思いを1つに！！
4. 大阪への鉄道の誘致！！

第2回市民ワークショップの発表
【産業・交流②】

■当該分野で取り組むべきことや課題ベスト5

1. 地域の良さを知ること。学ぶこと。 2. つながりと共有
3. 新しい価値(資源・産業)を開拓・発掘

(フレーズ)

『地産地就』なまち
～帰ってきたくなる魅力ある紀の川市～

■フレーズの理由・想い

1. 地域で生まれ、そこで就職できる(したい！)
2. 市民(個人)の可能性を活かすことができ、「生き」「活き」暮らせる

■役割り

<市民等>

1. 意識ある市民
2. 市民ファンド
3. 体験、経験

<行政>

1. 身近な役場
2. 予算化、政策化
3. 市民グループ(企業、団体etc...)の
マッチング

28

第2回市民ワークショップの発表
【都市基盤・生活環境】

■当該分野で取り組むべきことや課題ベスト5

1. 交通整備 2. 自然の楽しみ 3. コミュニティの場作り
4. 介護の充実化 5. 働く人材を養う

(フレーズ)

老若男女が楽しく集える町

■フレーズの理由・想い

1. 和歌山の自然を活かしてつながりをもてる
2. みんなが住みやすく交通整備が整った町(バリアフリー)

■役割り

<市民等>

1. 自分達でイベントを考え
2. 自分達が参加し、仲間を増やして楽しむ！

<行政>

1. 情報発信
2. 資金と場所の提供

29

第2回市民ワークショップの発表 【地域づくり・行政経営】

■当該分野で取り組むべきことや課題ベスト5

1. 地域イベントの活発化
2. 地域活動への補助制度の多様化
3. 外国人観光客の増加への取組
4. 人材育成

(フレーズ)

**誰もが住み続けたいと思うまち(自分の住んでいる
まちが一番と全住民が感じているまち)**

■フレーズの理由・想い

1. みんな仲良し
2. 住めば都
3. 国・年齢にかべがない

■役割り

<市民等>

1. 地域住民が協力
2. 自分のまちは自分たちで守る

<行政>

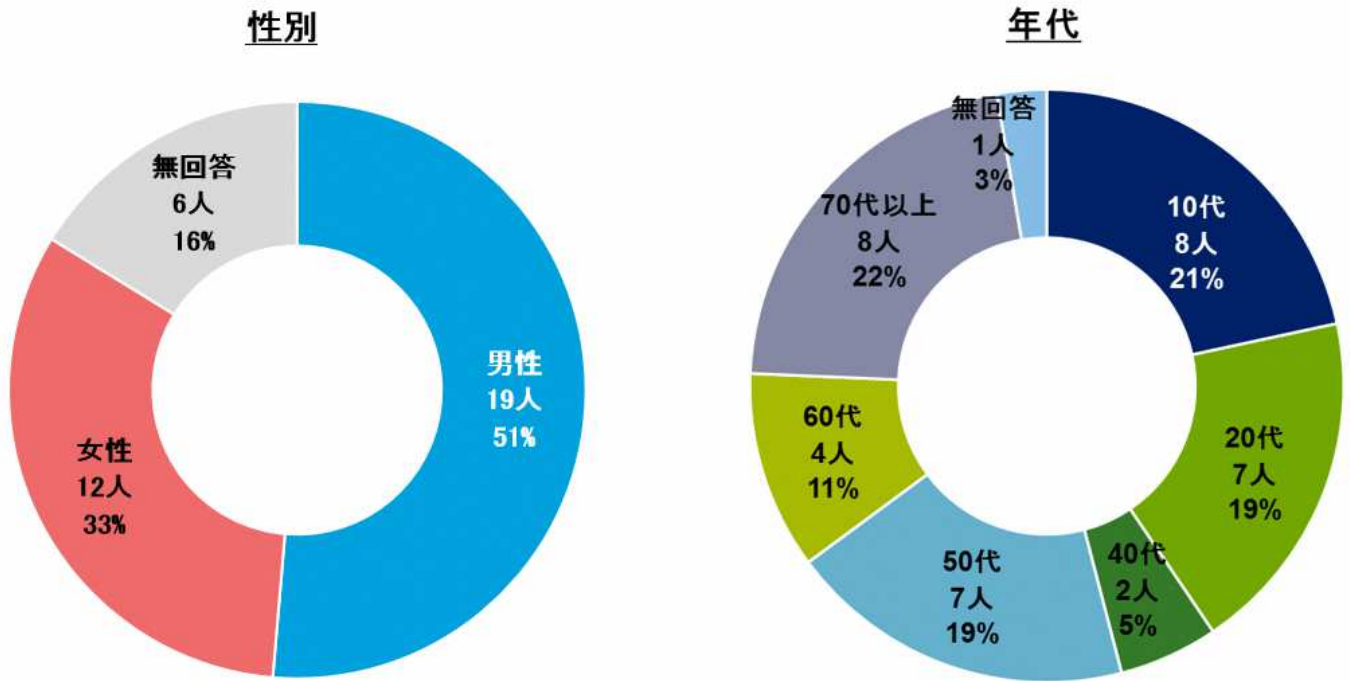
1. 変化への柔軟な対応(予算,インセンティブ)
2. インバウンドへの対応強化
3. 税の見直し

30

4.アンケート結果

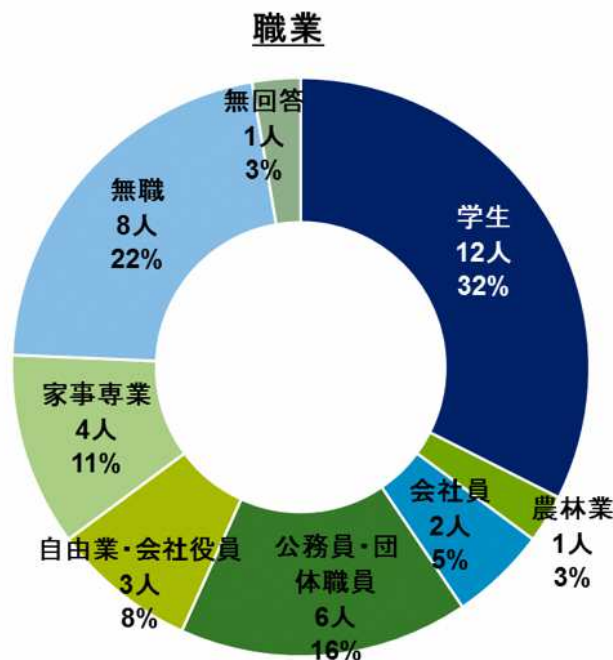
第2回市民ワークショップ アンケート結果①

参加者のうち最も多い年代は70代以上の22%、次いで10代の21%、50代の19%と全体として性別・年代ともに偏りがなく、幅広く参加しました。



第2回市民ワークショップ アンケート結果①

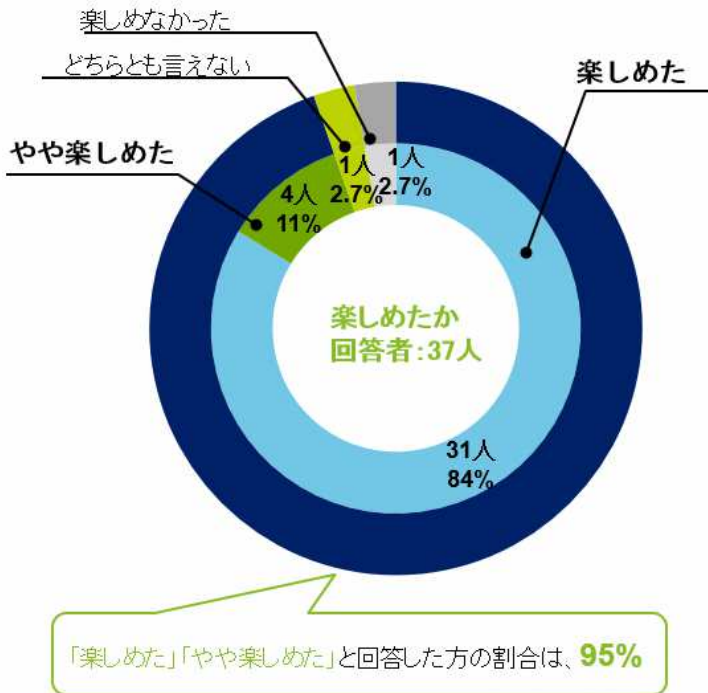
参加者のうち32%と学生が最も多く、次に公務員・団体職員が16%でした全体として幅広い職業が参加しました。



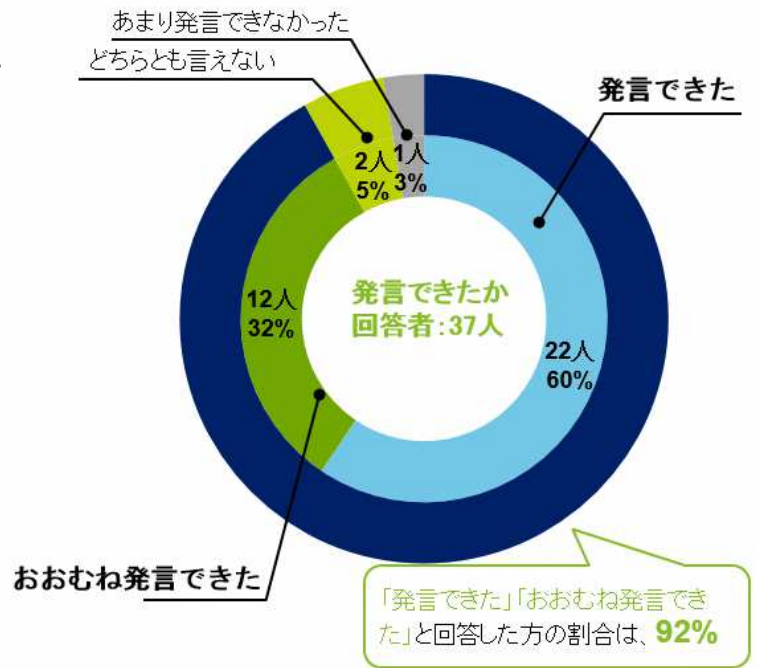
第2回市民ワークショップ アンケート結果②

約9割の方が、ワールド・カフェをお楽しみいただき、活発な意見を交わされました。

(1) 本日のワールド・カフェはお楽しみいただけましたか？



(2) 本日のワールド・カフェでは、ご自分の意見を十分に発言できましたか？



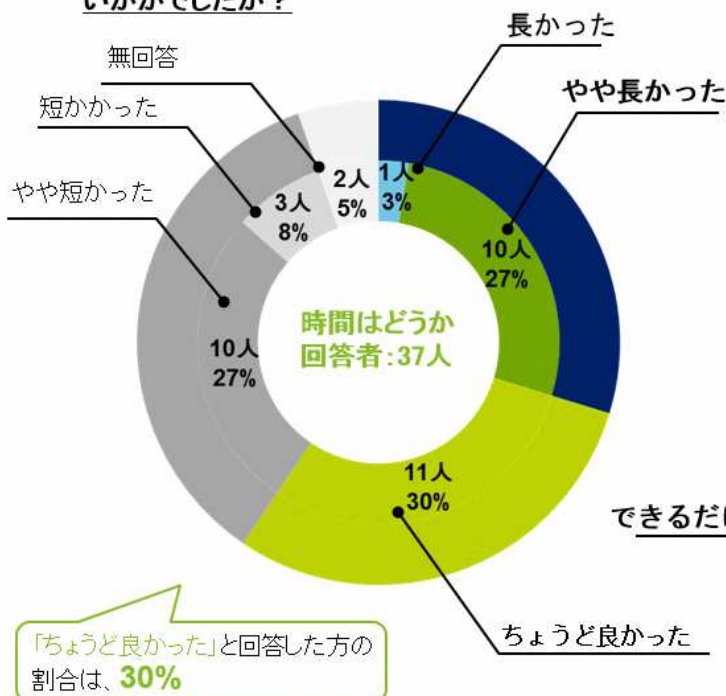
34

第2回市民ワークショップ アンケート結果③

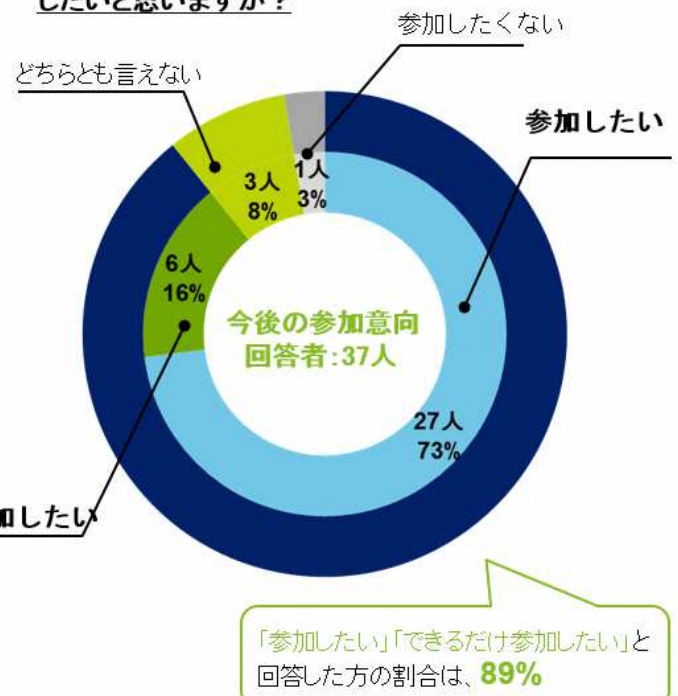
時間については、約3割の方が「ちょうど良かった」と回答され

今後の参加意向については、約9割の方が次回の参加に前向きな回答をしました。

(3) 本日のワールド・カフェでの話し合いの時間(長さ)はいかがでしたか？



(4) 今後、市民参画の機会がありましたら、また参加したいと思いますか？

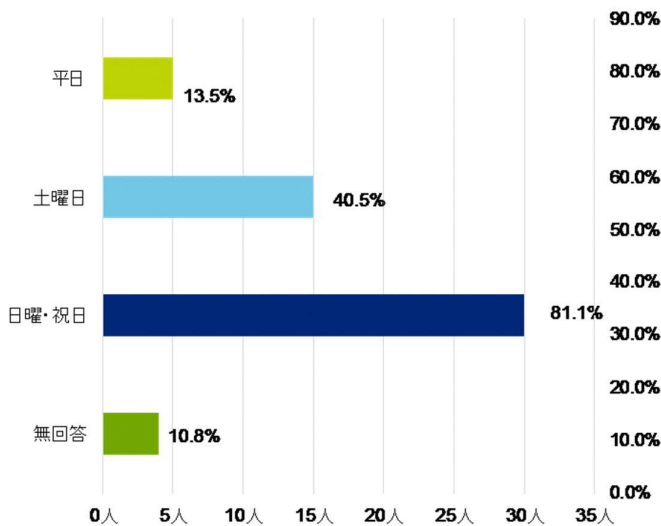


35

第2回市民ワークショップ アンケート結果④

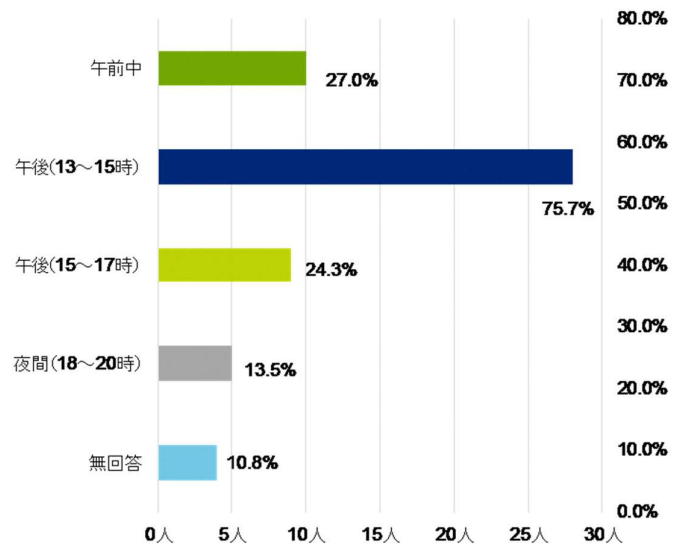
曜日については、日曜・祝日を希望する方が約8割、土曜日を希望する方が約4割、時間帯については、13～15時を希望する方が約8割という結果でした。

(1)参加可能な曜日について



回答者:37人
※複数回答可

(2)参加可能な時間帯について



回答者:37人
※複数回答可

第2回市民ワークショップで気づいたことや感じたこと(アンケート自由記述)

ワールドカフェに対しては全体的に好意的で、参加者からは対話することの重要性や幅広い年齢層との意見交換の有意義性についての意見が目立ちました。

カテゴリー	主な感想
対話について	皆さん、一生懸命考え、発言されるのでつられて自然に発言できました。あっという間に時間が経ってしまいました。
	「一人ひとりがいかされる町」。本日は一人ひとりが生かされたワークショップでした。深い話し合いができ満足でした。
	前回参加した時よりも楽しめたし、班の人達ですごく仲良くできた。
	多くの方々の中に出ていろいろな思い意見を聞かせていただく大切さを今回も強く感じました。ありがとうございました。
	知らない人たちとの会話はとても楽しかった。いろいろな人がいることを改めて知った。次回も来たい。
	チームが真剣に考えている事が充実した時間でした。紀の川市のためにいい企画だと思います。
	行政のことや自治体などには、ほとんど興味を持っていなくて知識が少なかったんですけど、今日で深いところまで知れた気がします。
	初めてのワークショップだったが、自分の意見もいうことができ、良い経験にもなった。また、今回出した意見が将来、役に立つことを願う。
	平等な発言が少しそこなわれていた。

第2回市民ワークショップで気づいたことや感じたこと(アンケート自由記述)

ワールドカフェに対しては全体的に好意的で、参加者からは対話することの重要性や幅広い年齢層との意見交換の有意義性についての意見が目立ちました。

カテゴリー	主な感想
参加者の属性について	年齢層が豊かで、それぞれの意見が聞けた。みんな活発で、楽しめた。
	若者の参加あり、大変良かった！
	年代が又職業が色々な人達との交流が出来た事が良かったです。
	孫のような若いはつらつとした高校生に混じって勉強できる事大変嬉しく思っております
	高校生の方の参加、頭が下がります！
	年代が多様でさまざまな意見考えを聞くことができてよかった。
	普段関わらない年上の年代の方たちと地域について話せるのは貴重な機会でした。ありがとうございました。土、日なのに関わらず、お疲れさまでした。

38

第2回市民ワークショップで気づいたことや感じたこと(アンケート自由記述)

ワールドカフェに対しては全体的に好意的で、参加者からは対話することの重要性や幅広い年齢層との意見交換の有意義性についての意見が目立ちました。

カテゴリー	主な感想
今後の進め方について	WSの進行がタイトすぎる！！
	すべての班のまとめ発表を聞きたかった。
	もっと多くの参加者を募ってほしい。
	たくさんの案がすぎて、まとめきれなかった。でも、すごく楽しくて、また参加したいと思いました！！
	テーマから少し脱線してしまうことがあった。自由な話し合いは大切だと思うので、規制のようなものはすべきでないと思う。参加する分野を選べると各個人の長所を生かせると思う。参加時に参加したい分野の順位をつけるなど。
	考える時間、作業する時間が少し短かったように思いました。
	市役所の職員さんばかりのスタッフでやってほしい。外注の会社のスタッフばかりで費用をかけずにビデオもいらんと思う。費用をかけずにリーズナブルにやらないといけないと思う。下請けの業者をつかわずにお金をかけずにやってほしい。
	数日前より課題を提供していただけたなら考えてきます。突然はむずかしいです。
	WSの進行がタイトすぎる！！

39

第2回市民ワークショップで気づいたことや感じたこと(アンケート自由記述)

ワールドカフェに対しては全体的に好意的で、参加者からは対話することの重要性や幅広い年齢層との意見交換の有意義性についての意見が目立ちました。

カテゴリー	主な感想
その他	楽しかった。市の方はこれを聞いて実現してください。
	こういうイベントは参加しなければ始まらないのもっと参加したい。
	楽しくワークショップに取り組みました。スタッフの皆様、お疲れさまでした。
	なかなか無い機会なので貴重な体験をさせて頂きました。
	市の職員がこのような場にもっと参加するように図られては、市民が行政に対し希望していることが良くわかる。